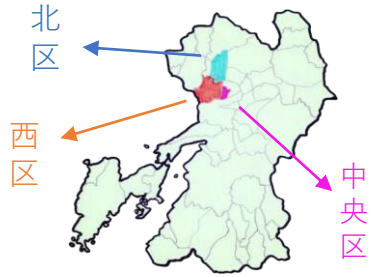
～熊本井戸マップ～



一部画像引用：熊本市ホームページ

①御馬下の角小屋の井戸

江戸時代の庄屋で質屋・酒屋を営んだ堀内家(旧赤木家)の住宅豊前街道を往来する島津、細川などの大名が休憩所として使用したお茶屋の片隅の井戸である。

②夏目漱石内坪井旧居の井戸跡

夏目漱石が5番目に移り住んだ家で、最も長い1年8ヶ月を暮らしたのが夏目漱石坪井旧居であり長女筆子の産湯に使ったという井戸跡が残っている。

③桧垣の井戸

平安時代、岩戸観音を信仰したと言われている桧垣が使用していた井戸である。

④山頭火ゆかりの井戸

1673年の夏以降、この井戸の水を飲むと様々な病気が治ると評判になった。井戸の敷地内には水神様も祀られている。

③桜の井戸

加藤清正が有事に備えて城下の要所に造った井戸の一つである。周辺の井戸水は、茶の湯に最適とされ、城中でも重宝されていたという。

⑤横井小楠産湯の井戸

新しい国家と社会の構想を公共と交易の立場から模索した横井小楠が産湯を使ったといわれている井戸を復元したもの。

⑥徳富蘇峰・蘆花の井戸

漢学者・教育者徳富一敬の長男である蘇峰と「不如帰」で知られる小説家・蘆花が使用していた井戸。

⑦井上毅の産湯の井戸

大日本帝国憲法の草案など新国家の運営に尽力し、伊藤博文内閣の文相も務めた井上毅が産湯を使ったとされる井戸である。